

## 調査依頼書

Fax.:06-6857-1839

希望納期

A

B

太枠内を必ず、ご記入ください。 ☆調査依頼をご要望の場合の専用書式です。(お客様書式の添付可)

CS 作業区分	<input type="radio"/> 苦情調査	<input type="radio"/> 現品調査	記入者名	<input type="radio"/> お客様	<input type="radio"/> 代理店様	<input type="radio"/> 弊社	様
お客様名					Tel.		
担当者名	様				Fax.		
代理店名					Tel.		
担当者名	様				Fax.		
本体型式					Ser. No.		
センサ型式					Ser. No.		
数 量	本 体	個	※ 購 入 日	年 月 日	到着予定日	年 月 日	
	センサ	個	※ 発 生 日	年 月 日	希 望 納 期	年 月 日	

<お願い> [次頁の「お客様へのお願い及び注意事項」の内容もご一読ください。](#)

製品調査を迅速に進める為に、製品の使用状況・環境及び異常を示した症状・状態などの詳細情報をご記入ください。  
異常原因を特定する上では初段情報が極めて重要から、お客様のご理解・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。  
(お客様書式の添付可。但し下記項目の情報を記載いただきますよう、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。)

## &lt;基本情報&gt;

測定媒体/付着物・危険物質の情報 \*必ずご記入ください。無記入の場合は、原則受付出来かねますのでご了承ください。

測定媒体/付着物

- ☐ 危険物質の付着は無く、人体に危険を及ぼす状態のものではありません。  
☐ 危険物質が付着しておりましたが、人体に危険を及ぼす可能性が無くなるまで除去しましたので、  
人体に接触しても安全です。

用途詳細情報 \* ご使用用途の情報について記載をお願いいたします。

用途内容

常用負荷

最大負荷

最小負荷

負荷印加頻度

ご使用環境情報 \* ご使用されております環境の情報について記載をお願いいたします。

周囲温度

周囲湿度

計測媒体温度

振動・衝撃有無

その他

## &lt;現象内容&gt;

印加負荷	[ kPa ・ MPa ・ N ・ kN ・ その他( ) ] 印加時に発生
表示値	[ kPa ・ MPa ・ N ・ kN ・ その他( ) ]
アナログ出力値	[ V ・ mA ・ mV ・ その他( ) ]
比較設定出力	[ SET1 ・ SET2 ・ SET3 ・ SET4 ] の [ HI ・ GO ・ LO ] が、[ ON固定 ・ OFF固定 ・ その他( ) ]
詳細情報	* 現象の詳細情報を出来るだけ具体的に記入してください。(例:「1MPa 印加時に 0.50MPa と表示。」等)

直 送 先 (有る場合)	〒	会社・部署名		Tel.	
	住所				

現品 送付先 〒560-0035

Tel.: 06 - 6857 - 1836

大阪府豊中市箕輪 3 - 7 - 25

株式会社 バルコム CS課 加藤行

C0A-012

問合せ先

調査依頼に関する内容は、弊社営業担当者までお問い合わせください。

関西営業所 Tel.: 06-6857-1800 関東営業所 Tel.: 045-410-1331 東海営業所 Tel.: 052-760-8656 九州営業所 Tel.: 092-260-8828

## その他情報

\* 現象の詳細情報を記載ください。

\* 写真資料・図面・関係機器の資料等がございました場合は、事前にご提出いただけますと幸いです。  
\* 弊社で調査に必要と判断されます資料(現場写真・図面・関係機器の資料等)が発生した場合は、ご提出いただけますと幸いです。

### 【お客様へのお願いと注意事項】

#### 1. 製品ご返却時のお願い

- (1) 現品は原則としまして、本体+センサ・ケーブル一式を出荷時の状態でご返却願います。ご協力の程、お願いいたします。
- (2) 当社製造出荷品以外のお客様備品(治具やケース等)は、原則お客様で取外して、ご返却願います。もし、弊社へ発送いただいた場合、お客様備品・備品に関わる事案において、紛失や破損が発生いたしましても、当社では一切補償はいたしません。ご了承ください。

#### 2. 苦情調査時の注意点 (必ずご一読いただき、お客様のご要求に沿えない場合はご容赦ください。)

- (1) 保証期間(初回出荷後1年)を超えている製品は、有償調査になる場合があります。
- (2) 破損品・改造品につきましては、調査をお断りさせていただく場合がございます。
- (3) 電子部品の初期不良時は、部品メーカーへの調査解析が困難な場合があります。
- (4) 調査時に分解した製品は 原則 としまして、廃却処分とさせていただきます。

☐ 返却必要 ☐ 返却不要

( 返却必要時は ☐ 返却必要とチェック記入ください。 )

#### 3. 現品調査について (以下内容をご一読頂き、ご記入を お願いいたします。)

現品調査とは、お客様原因により製品を破損させてしまった場合、原則としまして有償調査となります。

又、今後の対策の為に破損原因を把握されたい時也有償調査となります。

調査の結果、原因解明に至らない場合もございますので、ご了承ください。

☐ 見積りを事前に必要 ☐ 先に調査着手、見積りは 調査結果と同時